

Withコロナの中で 人生100年時代に対応する



理事長
石川 博一

公益財団法人移行以来「また来たいと言っていただけの診療所、健診センター」となれるよう設立理念を実現すべく努めてまいりました。

令和2年1月から始まったCOVID-19による世界的パンデミックは、2年経った今も変異株による感染拡大収束の目途が立たない状況です。これから先もコロナウイルスが完全になくなることはなく、それに対応する生活を取り入れていかなければならないと考えています。

先の見えない中で慣れや油断を排除し、緊張感を保ちつつ診療・健診を続けていけるよう、3密を避けるために、時間帯別予約を実施し、電話診療を取り入れて、活動制限と変更を加えながら最大限の防疫対策を講じ、受診者、医師、職員の安全を第一に確保し公益活動を継続した1年となりました。幸い、当事業団から1人の罹患者も出していないことに対し受診者の皆さまのご協力と、医師・職員の努力に感謝いたします。

残念ながらコロナ禍により、コロナ以前よりがん検診は1割減少し、健診受診者も11%減となっています。がんも生活習慣病も早期に発見し処置することがとても大切なことです。一人でも多くの方に気軽に越しいただける診療所、健診センターとなれるよう日々精進してまいります。

人生100年時代を向かえ健康寿命に対する関心は一段と高まっており、その期待に沿うべく安心・安全・信頼を基本として昭和22年当事業団開設以来の理念である生活習慣病の予防と撲滅を目指しながら、健康で生き生きした人生を享受できるよう皆さまのお手伝いができるよう努めていく所存です。

生活習慣病の疾病の病因・診断・治療および予防に関する調査研究のための 健診ならびに診療事業

(定款第4条第1号・第2号・第5号事業)

1. 健診研究事業・診療研究事業の取り組み

(1) 健診研究事業・診療研究事業

- ・当事業団の根幹である研究の基礎データ収集のため、健診・診療事業の受診者増に取り組んだ。
このデータをもとに生活習慣病とその他疾病の予防や病因解明の研究にあたり、また、健康啓蒙活動や健康相談においてデータを活用して事業団のテーマである「生活習慣病の撲滅」に役立てた。
- ・健診研究事業においては令和3年度の新規契約や大きな解約などはなかった。
- ・診療研究事業においては令和3年度の延べ患者数は前年対比331名増加した。しかし、新型コロナウイルスの影響で交通機関を使った新宿までの来所減少や、在宅勤務の定着による近隣の方々の来所減少が想像以上に多く新型コロナウイルス感染拡大前の80%までしか回復していない。

(2) 社会福祉施設無料巡回健診

- ・令和3年度も社会福祉施設無料巡回健診は新型コロナウイルス感染防止の為行わず、集めたデータを研究分析する年とした。新型コロナウイルス終息後は公募により選ばれた3施設を対象に3年間実施予定である。なお、要介護度の低い入居者がいる施設については「サルコペニア（加齢衰弱）」の検査項目を実施する。

2. 当事業団医師ならびに職員による研究活動

(1) 臨床検査、エックス線検査の統計調査

令和2年度に実施した臨床検査項目別の統計、消化器・胸部エックス線検査、エコー検査、CT検査等の撮影実数統計等は「事業年報」第48号に掲載した。

2 生活習慣病等の疾病の予防および健康保持増進のための事業

(定款第4条第2号事業)

1. 生活習慣病健診報告会管理者セミナー

このセミナーでは契約先の担当者を集め、毎年実施しているアンケート結果に基づき、関心の高い講演テーマを取り上げて行ってきたが今年は中止とした。

3 生活習慣病等の疾病の予防・診断・治療に関する啓蒙、啓発および普及事業

(定款第4条第3号事業)

1. 健康セミナー・健康講座の開催

事業団のテーマである「生活習慣病の撲滅」に繋がる演題を設定し、健康セミナーを1企画、健康講座を1企画、Webで配信した。

2. 生活習慣病予防の啓発、広報活動

(1) 事業年報の作成・ホームページ掲載

令和2年度(平成2年4月～令和3年3月)に実施した集団健診、診療等統計調査と観察結果などをホームページに掲載した。

(2) 三越厚生事業団ホームページによる情報発信

公益財団法人としての経営情報の開示、公益活動の紹介等を行った。また、診療・健診情報をリアルタイムに更新した。

4 生活習慣病等の予防、診断、治療に関する医学研究助成ならびに研究者への各種助成事業

(定款第4条第4号事業)

1. 三越医学研究助成

生活習慣病その他重要な疾病の予防・撲滅に寄与する医学研究を発展させることを目的に東京都内ならびに東京都近隣の大学医学部、医学研究施設、病院等を対象に生活習慣病とその治療を中心とした研究課題について広く公募し、助成対象者を選抜して助成金を交付した。令和3年度の応募総数は20件で、そのなかより厳正な審査をへて受賞者3名を決定した。

2. 三越海外留学渡航費助成

海外での医学研究や医療技術習得を志す若手医学者で留学先受け入れ研究機関が決まっている者、もしくは海外留学中で留学受け入れ先の研究指導者の推薦がある者に対し、留学費用の一部として渡航費の助成を行った。令和3年度は19名の応募があり、選考のうえ3名の受賞者を決定し助成金を交付した。